

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 11	中期総合計画主要施策番号		2-03	担当課	部・課	農政部 園芸畜産課	
事業名	肉用子牛生産安定特別対策事業					内 線	3180	
						E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H22 ~ H26	根拠法令等	農畜産業振興事業補助金交付要綱、肉用子牛生産安定等特別特別措置施行令					
実施方法	肉用子牛生産者積立金助成事業						国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	肉用子牛の市場価格低落時に価格差補てん金を交付し、肉用子牛生産農家の経営安定を図り、国産牛肉の安定供給体制を確保する。
	対象	肉用子牛生産農家
	目指すべき姿	1. 子取り用雌牛の飼養頭数の増により、肉用子牛の安定供給。 2. 肉用子牛生産者の経営安定。
	事業内容	肉用子牛の市場価格低落時に交付する価格差補てん金の原資となる基金(生産者積立金)の造成に対する県補助(負担区分:国1/2 県1/4 生産者1/4) 肉用子牛生産者補給金制度の事業実施協会に対する業務の助言、指導

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)	千円	11,470	6,959	5,878	・旅費 110千円 ・需用費(コピー用紙、トナー、事務用品等)538千円 ・役務費(切手代・通信費等)289千円 ・補助金(生産者積立助成金)5,267千円
	決算額 (B)	千円	8,684	6,204		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	7,744	5,267	4,942	
	概算人件費	人	0.25	0.25	0.25	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	10,763	8,269	7,943	
事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	子取り用雌牛頭数(成)	頭	3,430	3,370	3,310	・平成23年度においては、震災の影響もあり450頭に対して10,542千円の補填があった。(その他肉専用種54千円、乳用種10,488千円)
	契約者数(成)	者	389	380	371	
	生産者積立助成金(成)	千円	7,744	5,267	4,942	
	<効率指標(単位当たりコスト等)>子取り用雌牛1戸当たりのコスト	円/頭	3,137	2,203	2,399	
						(効果指標 算出式) 概算事業費/子取り用雌牛頭数

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	子牛生産者の厳しい経営環境の安定化のために、昨年は5,208頭の契約を行った。H23年度は大規模な廃業(千頭規模)があり、契約頭数の減少が見込まれるが、4,500頭の契約を実施する。	4,677頭の契約実績	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・全国一律での制度であり、県は事業主体である長野県畜産物価格安定基金協会に対しての助言指導を行うとともに適正な補填金交付の指導を行っていく。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	・畜産農家は厳しい経営状況に置かれており、本補填金事業は畜産農家の経営安定のため重要な位置づけとなっている。このため、本制度が継続する限りは、県としても協力して取り組みを実施する。
	特記事項	・肉用子牛の価格動向により、負担金額が年度途中でも変更になる可能性がある。